



# 東日本大震災を覚えて

この祈りと嘆願は、東日本大震災発生3周年にあたり、2014年3月9日の主日礼拝、3月11日の記念礼拝、祈り等において、およびその後も用いられることを意図して作成されたものです。

慈しみ深い神、慰めの主よ、（ 年を経た ）東日本大震災を覚えて祈ります。どうか、被災地にある人、避難生活を強いられている人、特に日本社会の中で生きることの困難に苦しむ人、将来の希望を見出せない人（ことに ）を支えてください。

また原子力発電所事故により、失われた自然と人々の生活を覚えます。故郷を離れて生活する人、危険な作業に従事する人とその家族をお守りください。

そして政治と社会に責任を持つ人々に正しい道を歩ませてください。

わたしたちもまた、これらの苦難をつねに覚えることができますように。日本聖公会「いっしょに歩こう・パート 」の働きを強めてください。そしてわたしたちも思いと力を合わせて、共に歩み続けることができるように導いてください。

いのちの源である主よ、東日本大震災のすべての犠牲者、そして世界各地の災害と争いの中で生命を失った人々を、あなたのみ腕の中に抱き、永遠の安らぎを与えてくださいますように。

主イエス・キリストのみ名によってお願いいたします。アーメン

（2014年2月 日本聖公会主教会）

\* 祈りの冒頭の（ 年を経た ）は、2014年3月には「3年の時を経た」あるいは「3周年を迎えた」等と言い替えることができる。

## 《嘆願形式》

司式者 慈しみ深い神、慰めの主よ、（ 年を経た ）東日本大震災を覚えて祈ります。どうか、被災地にある人、避難生活を強いられている人、特に日本社会の中で生きることの困難に苦しむ人、将来の希望を見いだせない人（ことに ）を支えてください。

会衆 主よ、お聞きください

司式者 原子力発電所事故により、失われた自然と人々の生活を覚えます。故郷を離れて生活する人、危険な作業に従事する人とその家族をお守りください。そして政治と社会に責任を持つ人々に正しい道を歩ませてください。

会衆 主よ、お聞きください

司式者 わたしたちもまた、これらの苦難をつねに覚えることができますように。日本聖公会「いっしょに歩こう・パート 」の働きを強めてください。わたしたちも思いと力を合わせて、共に歩み続けることができるように導いてください。

会衆 主よ、お聞きください

司式者 いのちの源である主よ、東日本大震災のすべての犠牲者、そして世界各地の災害と争いの中で生命を失った人々を、あなたのみ腕の中に抱き、永遠の安らぎを与えてくださいますように。

会衆 主よ、これらの祈りを主イエス・キリストのみ名によってお願いいたします。アーメン